

ひろか

だより

第397号
令和7年8月21日
発行
弘果
弘果 弘前中央青果株式会社
津軽の「うまい」がここにある



津軽りんご市場開市の様子



弘果りんご開市の様子

令和7年産りんご開市

数量減も堅調な取引で今後に期待感

令和7年産りんごの開市が8月2日、弘果・津軽りんご市場において行われ、極早生種「夏緑」「祝」「花祝」が上場されました。

入荷数量は、昨年より開花が遅く、記録的な少雨と暑さの影響で肥大や着色が遅れたことから、両市場合わせて2665箱（前年比67.9%）と前年を下回りましたが、単価は昨年を概ね上回り、全体的に堅調な取引となりました。

弘果りんご部

午前8時30分から行われた開市には買参人約200人、生産者約600人が来場しました。

競売前に行われたセレモニーでは、葛西静男社長の挨拶、弘果りんご買参人共進会葛西万博会長の音頭による手締め、弘果りんご連絡協議会須藤恵司会長による乾杯が行われた後、競売に移り、上場された1889箱（前年比70.4%）が競り落とされました。

會田一男専務は今日の開市を振り返り「開花が前年より8日程遅かったことに加えて、猛暑と干ばつの影響で各品種ともに小玉傾向でした。特に『花祝』『恋空』の入荷が少ない状況でしたが、生産者の栽培技術と努力で、着色、品質は良く仕上がっています。祭りや盆需要で引き合いが強く、良いスタートとなりました」と話し、今後について「猛暑が予想され、着色管理等、作業が大変になると思いますが、熱中症等に注意しながら、高品質なりんごの生産に励んでいきたい」と話していました。

津軽りんご市場

午前8時30分より行われた開市には買参人約40人、生産者約650人が来場しました。

競売前に行われたセレモニーでは、八木橋宏弥社長による挨拶、津軽りんご市場峰谷保会長の音頭による手締め、津軽りんご市場連絡協議会小関清隆会長による乾杯が行われた後、競売に移り、上場された776箱（前年比62.5%）が競り落とされました。

齋藤彰寿取締役部長は今日の開市を振り返り「全体的に堅調な取引で好調な出だしとなりました。小玉傾向ですがサビ果は少なく、『花祝』も生産者の皆様が、猛暑の中で栽培、着色管理に努め、良品物が出荷されました」と話し、今後について「豪雪の影響を含めて、今年産の生産量がなかなか読めませんが、現在の雨不足が解消されて、順調に肥大が進むことを期待しています」と話していました。

弘果（8月2日開市市況）

品種		高値	中値	安値
花祝	令和7年度	59,400	10,800	7,560
	前年比(%)	183.3	100.0	100.0
祝	令和7年度	9,720	6,480	5,400
	前年比(%)	128.6	100.0	125.0
夏緑	令和7年度	10,260	6,480	5,400
	前年比(%)	118.8	109.1	100.0

りんごの目焼けにご注意

今後、高温で、強い日差しが続くと予想されます。樹上での日焼けの他、収穫後からの運搬時の直射日光による日焼けの発生も懸念されますので、油断せず対策を講じるようにお願いいたします。



思い思いのフラワーアレンジメントを制作する婦人部員

花き部 花育活動

弘果花き部では「青森県花のくにづくり推進協議会」の花育体験園芸体験の一環として、花をもっと身近に感じてもらうと様々な場所で体験学習を開

弘果りんご連絡協議会婦人部

催しています。この「花育活動」と弘果りんご連絡協議会婦人部の夏期研修が協同した「フラワーアレンジメント教室」が7月29日、弘果大会議室で開催され、20名の部員が参加しました。

研修では、リンドウやヒマワリ、カーネーションなど多種多様な季節の花を使用したフラワーアレンジメント制作にあたり、講師がひとつひとつ丁寧に解説・実演しました。参加者は講師のアドバイスを聞き、熱心に思いの作品を作り上げていました。

「早生種」りんごの収穫が間近となっております。出荷予定の方は収穫前に申請をお願いします。

詳細は次の通りです。

【場所】 弘果及び津軽市場トレサビセンター

【時間】 8時～17時

※休日は休みとなりますが、8月27日、9月3日、10日はトレサビセンターのみ臨時営業致します。

トレサビセンター混雑状況配信します!!

配信期間8月18日～9月30日まで
弘果・津軽両トレサビセンターの混雑状況を弘果総合研究開発（株）のHPで公開します。

トレサビセンターへ来場する際にご活用下さい。

混雑状況緩和の為、WEB登録もご活用下さい。

Web登録はこちら

Web配信はこちら

津軽りんご市場（8月2日開市市況）

品種		高値	中値	安値
花祝	令和7年度	19,440	10,800	7,560
	前年比(%)	100.0	100.0	100.0
祝	令和7年度	9,180	7,020	5,400
	前年比(%)	141.7	130.0	125.0
夏緑	令和7年度	7,560	6,480	5,400
	前年比(%)	116.7	109.1	100.0

今が旬 ピーマン

大鰐町居士の中嶋大樹さんは約40坪の園地でピーマンを栽培しており、7月下旬から収穫が始まっています。

中嶋さんが栽培するピーマンは、高温下でも果色があせにくく、黒アザ果や変形果が少ない「京まつり」という品種で、極濃緑の果色と秀品率の高さが特徴です。

中嶋さんは今年の生育について「高温少雨が生育に大きな影響を及ぼし、収量は昨年同時期の半分くらいにとどまっています」と話し、今後のピーマン栽培の展開について「りんご栽培で使っている肥料を用いる等、土づくりを工夫しています。また、大きなサイズのピーマンについて、そのサイズ感を活かす



ことでブランド化を図る等、大鰐産ピーマンの認知度向上に向けて取り組んでいきたいです」と意気込んでいました。

いました。花き部森信部長代理は「今回、団体とコラボして『花育活動』を行えたことで、部員皆様の身近なところである弘果に花き部があることへの周知と、更なる理解、関心を深めていただく良い機会となりました。これからもこの活動を通じて、地域全体へ『弘果花き部』が花の魅力を伝えていきたいです」と意気込み話していました。

農業の未来を拓く！新規就農者



福田 真由美さん (40)

【園地所在地】東津軽郡蓬田村中沢

【作付状況】森のひかり(夏秋いちご)・約29ア(2千株)

【就農年】2025年

【きっかけ】仕事と家庭(子育て等)を両立する生活を続けていましたが、家族との時間を優先させるため、仕事を辞めました。そんな

農業に大きな夢と希望を抱いて就農した人にスポットを当て、紹介します。農業の未来を切り拓く就農者を弘果グループは応援します。

折、ママ友であるミニトマト農家から声をかけていただき、アルバイトとして農業に携わることになりました。実際やってみると、農作業が思いのほか楽しく、自分に向いていると感じ、農業に興味を湧いてきました。やがては自分で農業を営みたいと考えているようになりました。

【現在】夫をはじめ、家族の協力があって始めることができました。栽培管理に思いのほか時間がかかり、ペースをつかみ軌道に乗せるまでは、まだまだ迷惑をかけてしまうかも知れません。家族の存在は私の原動力なので、仕事と家庭を両立させ、いちご家族に目一杯の愛情を注いで頑張っていきたいです。また、師匠が弘果へ出荷しており、そのきっかけで弘果とつながりができました。

【夢・展望】今は土耕栽培をしていますが、近いうちにハウスを増やして、高設栽培にチャレンジしていきたいと考えています。コストや技術面での課題がありますが、土耕栽培と併せて、安定的で高品質ないちご栽培を目標に進んでいきたいです。その際は、弘果いちご栽培研究会会員で高設栽培に取り組んでいる方のもとで、是非とも勉強させていただきたいと思っています。

【座右の銘】「人の感情を揺さぶりたいなら、自分も絶対本気で行かないといけない」私の好きな歌手である「AI(アイ)」さんの言葉です。彼女の心に響く歌は、聴いている人と本気で向き合っていることだと知り感銘を受けました。いちご農家として駆け出しの私もまた、仕事、家庭、そして人生に本気で向き合っています。

津軽りんご市場第26回仮装盆踊り大会開催

津軽りんご市場において8月18日、第26回仮装盆踊り大会が開催され、地域の交流を深める機会となりました。



魅力あふれる衣装と踊りで観客を沸かせた出場者



「踊り大賞」「仮装大賞」の審査の結果、団体仮装の部は「ダンボール王国の王妃」、団体踊りの部は「さざんか」がそれぞれ大賞を受賞しました。(※個人仮装の部は無審査)

表彰式終了後は豪華賞品が当たる大抽選会が行われ、来場者は抽選結果に一喜一憂し、過ぎ行く津軽の夏を楽しんでいました。



踊り大賞「さざんか」



仮装大賞「ダンボール王国の王妃」

選果機を使用した信頼の品質



当社オリジナルブランドのつがりあんぴーちは、選果機を使用して糖度・着色・内部障害を測定し、各等級に選別して販売しています。

つがりあんぴーちは「あかつき」「みさと」「まどか」「川中島白桃」「だて白桃」の7品種で構成され、早生種の「あかつき」が8月1日から選果を行っています。

「あかつき」は、津軽地域が桃の栽培に適するようになり、今年度は平年より出荷が遅れています。糖度は高く仕上がっています。

共選品として出荷すること、信頼の品質をアピールし、有利販売につなげていきたいです」と話していました。

「葉とらず」りんご栽培へ理解深める ～地域生産販売交流会～



弘果りんご連絡協議会(須藤恵司会長)では7月22日、加入組合の代表を対象に情報交換、交流を目的とした地域生産販売交流会をアトホテル弘前シティにおいて開催しました。

交流会では、公益社団法人青森県参加した生産者は「講演会での話は非常に勉強になりました。葉とらず栽培の最大の魅力は、剪定から変えていくことで、葉摘み作業を省いても美味しいりんごが出来ることです。年々、人手不足の問題も深刻化し、それは自分自身でも実感しているので、今後は本格的に葉とらず栽培に取り組んでいきたいです」と話していました。

りんご集荷場オープンのお知らせ

津軽市場

【期間】9月1日～11月25日
【休み】休市日の前日

【時間】午前9時～午後6時

五所川原集荷場 080-6051-5242
福山 ※北都観光本社倉庫そば

【時間】午前10時～午後6時

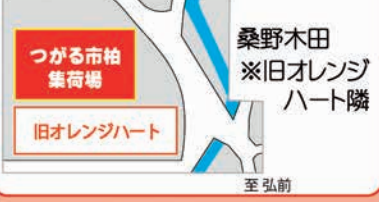
鶴田集荷場 080-5744-5050
廻堰 ※水元保育園そば

鰺ヶ沢集荷場 080-5744-5048
建石 ※旧建石小学校敷地内

NEW

つがる市柏集荷場

080-5360-8056



弘果

【期間】9月1日～11月30日
【時間】午前10時～午後6時
【休み】休市日の前日

小沢集荷場 090-7529-3736
※アップルロード沿い

目屋集荷場 070-2022-1905
中野 ※山福アップル敷地内

岩木集荷場 090-1398-1415
熊鷹 ※小山内タイヤ商会隣

浪岡集荷場 080-1833-1461
女鹿沢小学校前

大鰐集荷場 080-3149-3657
蔵館 ※国道7号線沿い・北伸工機隣

十面沢集荷場 080-4411-8759
旧修善小学校跡地

平賀集荷場 080-5224-7684
ホームックススーパーデポ平賀店向かい

鬼沢集荷場 090-2988-2855
鬼沢 ※佛丹藤鬼沢SS・北部配送所隣